

令和2年度

川口いきもの調査

調査員募集!

市内に生息・生育する6種の指標生物を中心とした「川口いきもの調査」を実施します。皆さんからお寄せいただいたデータを活用し、市内の自然や生きものの保全を図るとともに、調査に参加することで、身の回りの生きものに興味や関心を持ってもらうことを目的に行います。



(川口いきもの調査) ホームページ

STEP 1 調査員登録をしよう!

氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号、Eメールアドレス(任意)、「いきものログ※」ユーザー名(任意)を記入の上、郵送、FAX、Eメールで自然保護対策室までお申し込みください。

- 市内在住・在学・在勤の小学生以上のかたに限りです。
- 小学生は、保護者からご応募ください。
- 令和元年度に調査員登録されたかたは、登録不要です。

STEP 2 生きものを見つけに行こう!

調査期間: 5月1日(金)~11月30日(月)

調査対象: 指標生物6種類(ニホンアマガエル、アカボシゴマダラ、ギンヤンマ、クマゼミ、カワセミ、タンポポ)、そのほかに気になった生きものなど

STEP 3 調査票で報告しよう!

報告方法: 市内で見つけた生きものを調査票で報告してください。
調査票の報告以外に、「いきものログ※」からも報告が出来ます。
※環境省が運用している生きものの情報を収集・管理するインターネット上のシステム

問い合わせ…自然保護対策室

〒332-0001 朝日4-21-33 朝日環境センター・リサイクルプラザ3階

☎048-229-6735 FAX048-224-5304

✉090.02510@city.kawaguchi.saitama.jp



【提供:小川 晴美さん】



【提供:長 恵子さん】



【提供:前山 将一さん】

カラスは本当に悪者なの?

カラスは街中で多く見られますが、勝手に増えたわけではありません。天敵であるタカやフクロウが暮らせる豊かな自然が少なくなったことや、街にエサであるゴミが豊富にあることなどが主な原因です。私たちの行動を見直し、カラスと上手に付き合っていきましょう。

カラスに襲われたときは

巣に近づくと卵やヒナを守るため、威嚇や攻撃をすることがあります。巣が近くにある場合は、背中を向けず、親ガラスやヒナからできるだけ離れるようにしてください。襲われたときは、帽子やカバン、傘などで頭を守ることが大切です。

増えすぎたカラスを減らすには

カラスにとってゴミはごちそうです。食べ物が無ければカラスは街から次第にいなくなっていきます。ゴミの出し方を守り、ゴミを減らすことで、増えすぎたカラスを減らすことができます。

ヒナが巣から落ちていたら

ヒナは巣立ちのときに地面に落ちてしまうことがあります。助けようとする、親ガラスはヒナを守るため、襲ってくる場合がありますので、近づかないでください。落ちたヒナは、しばらくすると飛び立つことがよくあります。



※市では、カラスの捕獲は行っていません。

問い合わせ…自然保護対策室 ☎048-229-6735 FAX048-224-5304